

対称な図形(6/12時)

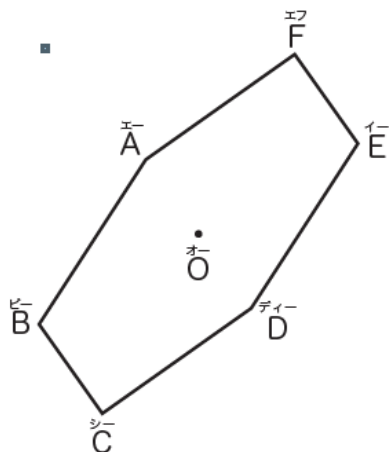
① 点対称な図形の性質を調べよう。

線対称な図形を調べたときは何に注目したかな？

対応する()の長さ
 対応する()の大きさ

- 頂点B → 頂点(E)
- 辺BC → 辺()
- 頂点D → 頂点()
- 辺CD → 辺(FA)

対応する辺や点をかこう。



② P279の㊦を切り取り、それをP15の図形に重ねて置き、「点O」を中心に180°回転させましょう。

☆☆大切☆☆

点対称な図形で、対称の中心のまわりに180°回転したときに重なり合う

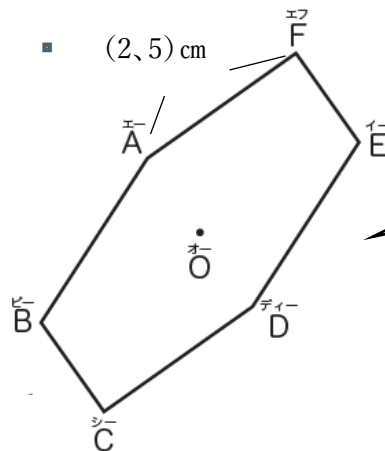
辺、角、点を



対応する辺、対応する角、対応する点 といいます。

P15を参考にして言葉を入れましょう。

③ 対応する辺の長さや対応する角の大きさを調べよう。



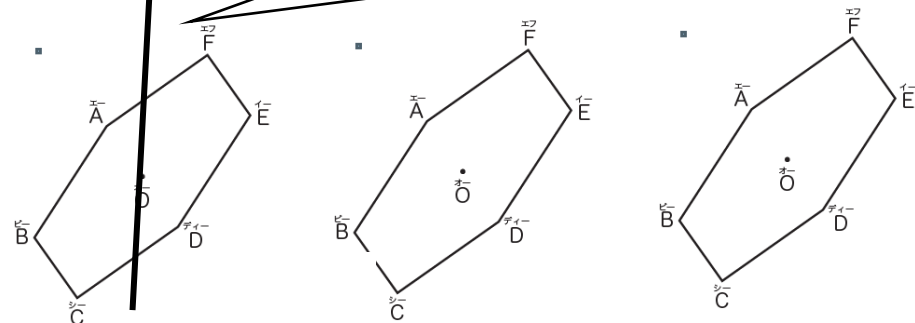
辺の長さと角の大きさを調べて書こう

• 対応する辺の長さや、角の大きさは()。

④ (例)を参考に対称の中心を通る直線で2つに分けよう。

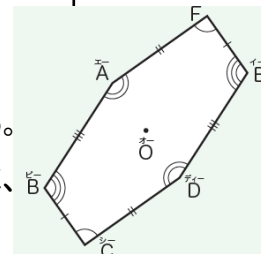
(例)

分けた2つの図形は合同になっているね



④まとめ

点対称な図形では、対応する()や対応する()は等しくなっている。対称の中心を通る直線で分けてできた2つの図形は、()になっている。



--	--	--

